

平成30年度公立大学法人島根県立大学当初予算の概要

～地域に根ざした大学づくり予算～

I 予算編成の考え方

平成30年度は、第2期中期計画期間（平成25年度～平成30年度）の最終年であり、現計画の成果が問われること、次期中期計画に向け大学改革を推進すること、また、松江C四大化初年度に当たり遺漏なく事業実施することを踏まえ、法人運営を進めていく必要があります。

更に、スピード感を持ち、戦略的に大学改革を実行する上で理事長の強いリーダーシップと権限の確立を図るため学長裁量事業を創設し、その中に県民や地域の期待に応えるための地域貢献推進対策事業を計上、各キャンパスで別々に編成・執行している学長裁量研究費を理事長のもとに一元化し、重点的に執行することとしています。

一方で、松江C四大化に伴う運営費交付金の増額がありながらも、法人運営の効率化を促す趣旨から平成30年度も引き続き運営費交付金の減額が継続される見込であり、自律的な運営のための経費削減努力、事務事業の見直し、自己財源の確保等がより一層求められます。

このため、平成30年度計画の重点項目を中心とし、必要な事業に重点的に予算措置することを基本方針として編成を行いました。

II 当初予算の概要

1. 事業費総額

事業費総額は、36億55百万円で、松江C四大化の準備に伴う事業（備品整備等）の大幅な減の一方で、新たな教職員配置による人件費の増により前年度予算（36億49百万円）に比べ0.16%の増（6百万円）となっています。

（単位：千円）

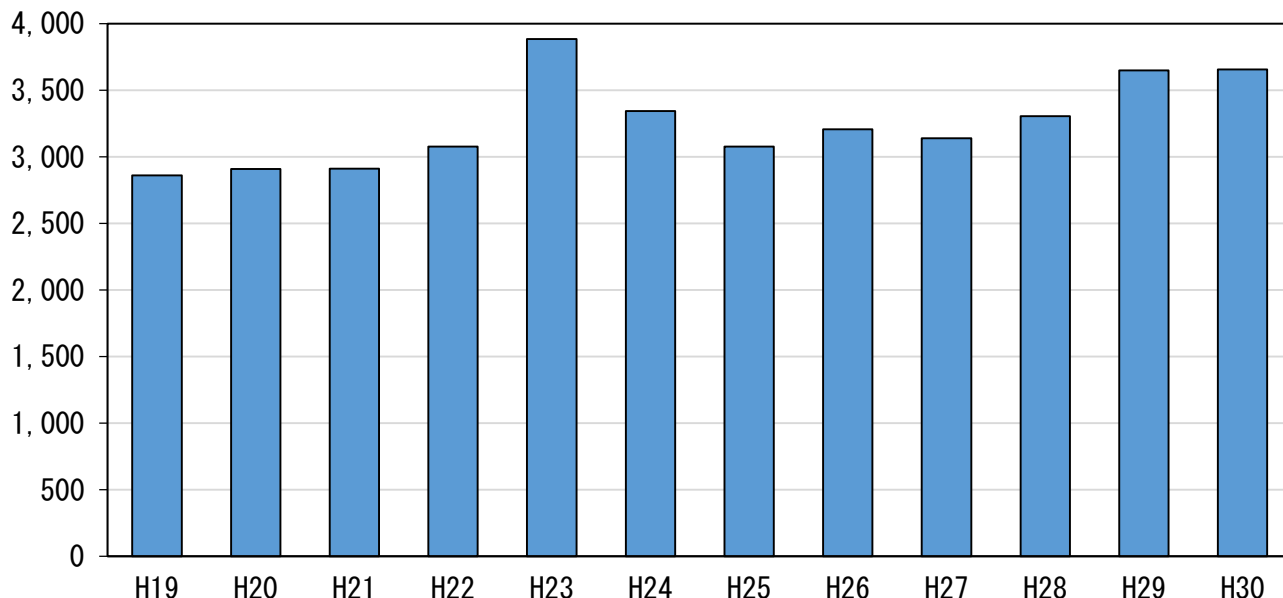
区 分	H30当初	H29当初	増 減	増減率
予算規模	3,655,294	3,649,487	5,807	0.16%

【参考】当初予算規模の推移

（単位：百万円）

H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
2,860	2,907	2,911	3,077	3,885	3,342	3,075	3,206	3,139	3,305	3,649	3,655

（百万円）



2. 収入予算

(単位：千円)

区 分	H30当初		H29当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
運営費交付金(退手除)	2,079,926	56.9%	1,753,505	48.1%	326,421	18.6%
学生納付金	1,091,103	29.9%	1,067,695	29.3%	23,408	2.2%
外部補助金等	37,082	1.0%	55,909	1.5%	▲18,827	▲33.7%
寄附金	58,772	1.6%	49,622	1.4%	9,150	18.4%
その他収入	80,618	2.2%	78,149	2.1%	2,469	3.2%
計	3,347,501	91.6%	3,004,880	82.4%	342,621	11.4%
運営費交付金(退手)	102,966	2.8%	30,952	0.8%	72,014	232.7%
県補助金(四大化)	125,488	3.4%	541,732	14.8%	▲416,244	▲76.8%
積立金取崩収入	79,339	2.2%	71,923	2.0%	7,416	10.3%
合 計	3,655,294	100.0%	3,649,487	100.0%	5,807	0.2%

○運営費交付金と学生納付金の合計で収入全体の86.8%を占めています。

○運営費交付金(退手除)は、県からの効率化の実施(▲8百万円)、人事委員会勧告の反映による影響(+10百万円)、松江C四大化・出雲C大学院の算定増(+366百万円)、その他共済費精算等の影響(▲42百万円)により326百万円の増額となっています。

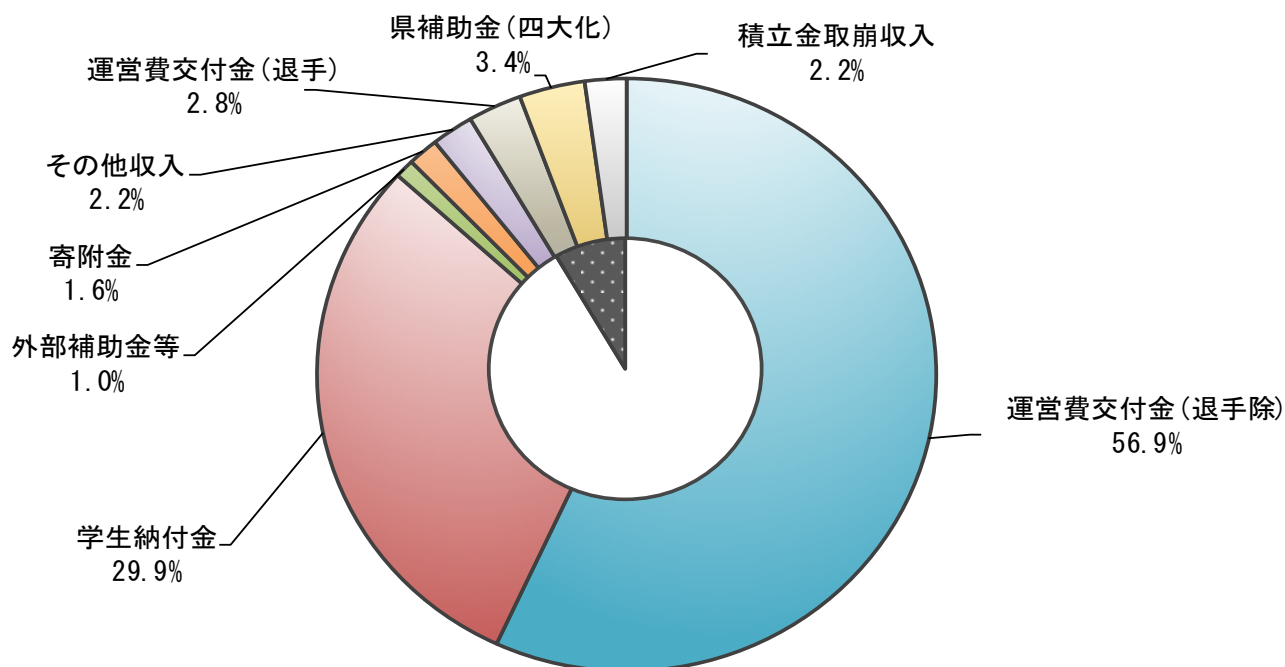
○外部補助金等は、文部科学省教育関係補助金等を計上し、地(知)の拠点整備事業の終了等の影響により19百万円の減額となっています。

○寄附金は、島根県立大学未来ゆめ基金及び旧北東アジア学术交流財団寄附金、出雲キャンパス支援ネットワーク寄附金、杉谷大学院教育奨学寄付金を計上し、9百万円の増額となっています。

○県補助金(四大化)は、出雲C新棟整備に伴う備品整備等の終了の影響により416百万円の減額となっています。

○積立金取崩収入は、前中期目標期間繰越積立金を財源として実施する事業に充てるための収入として計上し、7百万円の増額となっています。

※目的積立金充当事業…教育向上、学生支援、研究支援、学生確保、環境整備等に資する事業



3. 支出予算

(単位：千円)

区 分	H30当初		H29当初		増 減	増減率
	予算額	構成比	予算額	構成比		
教育経費	254,627	6.9%	247,272	6.8%	7,355	3.0%
研究経費	175,633	4.8%	136,696	3.8%	38,937	28.5%
教育研究支援経費	170,612	4.7%	153,468	4.2%	17,144	11.2%
人件費（退手除）	2,235,391	61.2%	1,975,838	54.1%	259,553	13.1%
一般管理費	525,125	14.4%	451,648	12.5%	73,477	16.3%
受託事業 等	61,209	1.7%	96,409	2.6%	▲35,200	▲36.5%
予備経費	4,243	0.1%	15,472	0.4%	▲11,229	▲72.6%
計	3,426,840	93.8%	3,076,803	84.4%	350,037	11.4%
人件費（退手）	102,966	2.8%	30,952	0.8%	72,014	232.7%
県補助事業（四大化）	125,488	3.4%	541,732	14.8%	▲416,244	▲76.8%
合 計	3,655,294	100.0%	3,649,487	100.0%	5,807	0.2%

○教育・研究に係る経費は、四大化に伴う教員の増員による研究費の増、松江C・出雲Cにおける入試関係等事業費の増により46百万円の増額となっています。

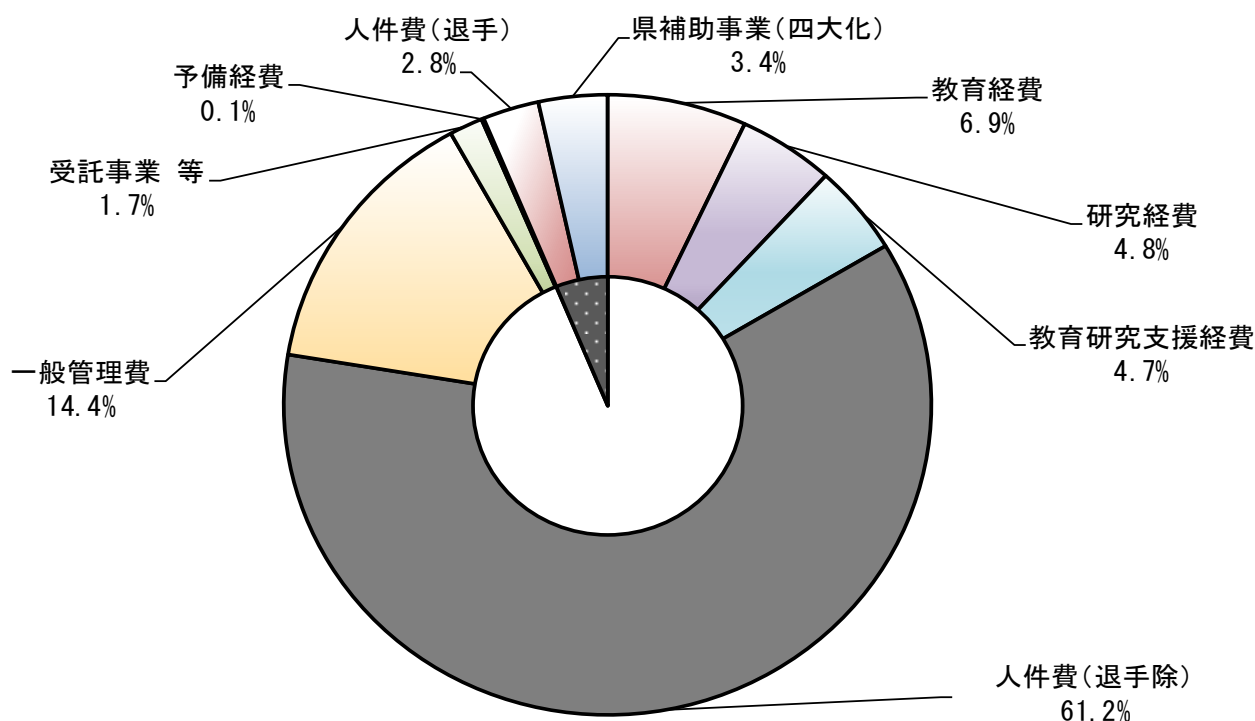
○人件費（退手除）は、人事委員会勧告を受けた給与改定による増、昇給及び昇格に伴う増のほか、四大化に伴う新規雇用の教職員を予定していることにより、260百万円の増額となっています。

○一般管理費は、新たに地域貢献推進対策経費10百万円を計上するほか、出雲C新棟にかかる施設管理経費の増、浜田C建物外壁打診調査事業の増等により73百万円の増額となっています。

○受託事業等は、地(知)の拠点整備事業の終了による減、県認定看護師委託事業等の減等により35百万円の減額となっています。

○予備経費は、年度途中の緊急的な支出に備えるため、4百万円を計上しています。

○県補助事業（四大化）は、松江C備品整備費等を計上しています。



Ⅲ 主な事業

1. 重点項目

(1) 社会情勢の変化や地域ニーズに対応した大学改革

- ①学長裁量事業（法人本部）〈新規〉 56,137 千円
・ 県や地域のニーズに応え、地域課題研究の推進、地域貢献を志向する大学へと改革を進めるための情報発信や検討調査を行う。
・ 理事長の権限のもとにキャンパス横断的に学長裁量研究費を一元化し、教育・研究プログラム重視型に改め、若手教員の業績向上への支援を検討する。
- ②松江キャンパス四年制化事業（法人本部）〈継続〉 125,488 千円
・ 松江キャンパス四年制大学化に向けた、備品購入・移転作業・追加設備工事を実施する。
- ③新学部キャリア教育支援事業（松江C）〈新規〉 3,896 千円
・ 平成30年度より人間文化学部、短期大学部において充実したキャリア教育を実践するため、四大キャリア支援科目を実施し、短大はキャリアプランニング、キャリアアップ講座等を開講する。

(2) 地域と協働した社会貢献の推進

- ①地域貢献推進対策事業（法人本部）〈新規〉【（1）①の一部再掲】 10,000 千円
・ 県や地域のニーズに応え、地域課題研究の推進、地域貢献を志向する大学へと改革を進めるための情報発信や検討調査を行う。
- ②学生地域ボランティア活動推進事業（全C）〈継続〉 1,629 千円
・ 学生が地域ボランティア活動等に参加するための保険料を大学が負担、意見交換会の開催、ポイント化によるマイレージ事業の実施等を行い学生ボランティア活動の推進を図る。
- ③地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（全C）〈継続〉 1,938 千円
・ 県内就職率向上に向け、島根大学、ジョブカフェしまね等と連携し、県内企業を知る機会を設け県内企業とのマッチングを促進する。

(3) 学生確保、教育内容及び学生支援の充実強化

- ①授業料奨学制度（全C）〈継続〉 70,950 千円
・ 意欲ある学生への学修支援を行うために、経済的支援としての学修支援奨学金、入学時奨学金、成績優秀者奨学金等を学生に給付する。
- ②しまね地域マイスター制度ゼミナール活動等支援（浜田C）〈継続〉 1,020 千円
・ 「しまね地域マイスター」の資格を取得するために履修・修得しなければならない「地域共生演習」において、フィールドワークを行う学生の負担軽減と円滑な活動の実施を図る。
- ③全学入試制度検討委員会経費（法人本部）〈新規〉 152 千円
・ 大学入学者選抜改革への対応、県内入学者比率向上のための全学的な制度設計を行い、入試制度変更事前予告を行えるよう着実に準備を進める。
- ④認証評価受検対応事業（浜田C・松江C）〈新規〉 4,603 千円
・ 平成30年度の短大認証評価受検、平成31年度の四大認証評価受検に向け、自己点検・評価を実施する。

(4) 国際交流、海外留学等の促進

- ①海外留学等支援事業（全C）〈継続〉 1,550 千円
・島根県立大学未来ゆめ基金を原資として、学生が自ら企画する海外での活動に対して助成し、学生の海外渡航を支援するとともに、自ら考え行動できる体験機会の提供を行う。
- ②海外留学・海外研修等に係る奨学金（全C）〈継続〉 10,804 千円
・本学の特色である「国際的な視野を持った人材養成」実現のため、奨学金制度を継続し、学生の海外留学、海外研修等に対する支援の強化を図る。

2. その他項目（重点広報等）

(1) 重点広報

- ①重点広報事業（法人本部）〈継続〉 7,370 千円
・新聞広告、テレビCM、保護者向けリーフレット、動画作成などより効果的な手法となるよう集中と選択を図り、学生確保に努める。
・広報誌のあり方を検討、教職員の広報スキルアップ研修等を実施し、広報力の向上を図る。

(2) その他

- ①おはなしレストランライブラリー事業（松江C）〈継続〉 7,245 千円
・絵本の読み聞かせなど授業での実践的な学びの場として運営し、地域住民への絵本の貸出、学生による読み聞かせ活動などを実施する。
- ②認定看護師教育課程運営事業（出雲C）〈継続〉 24,660 千円
・県からの受託事業として認定看護師教育課程を開設しており、平成30年6月より認知症看護分野を開講し、熟練した看護技術と知識を有する認定看護師を育成する。
- ③教職センター運営事業（法人本部・松江C）〈新規〉 3,155 千円
・教職課程の一元的な管理を行うためFD研修、教員免許更新講習等を実施する。
- ④浜田C建築物外壁劣化診断業務（浜田C）〈新規〉 24,894 千円
・外壁の落下等による事故を未然に防ぐため、浜田C建物外壁タイル等の劣化・損傷を調査する。